



広報 常陸大宮



2016
10
No.145

主な内容

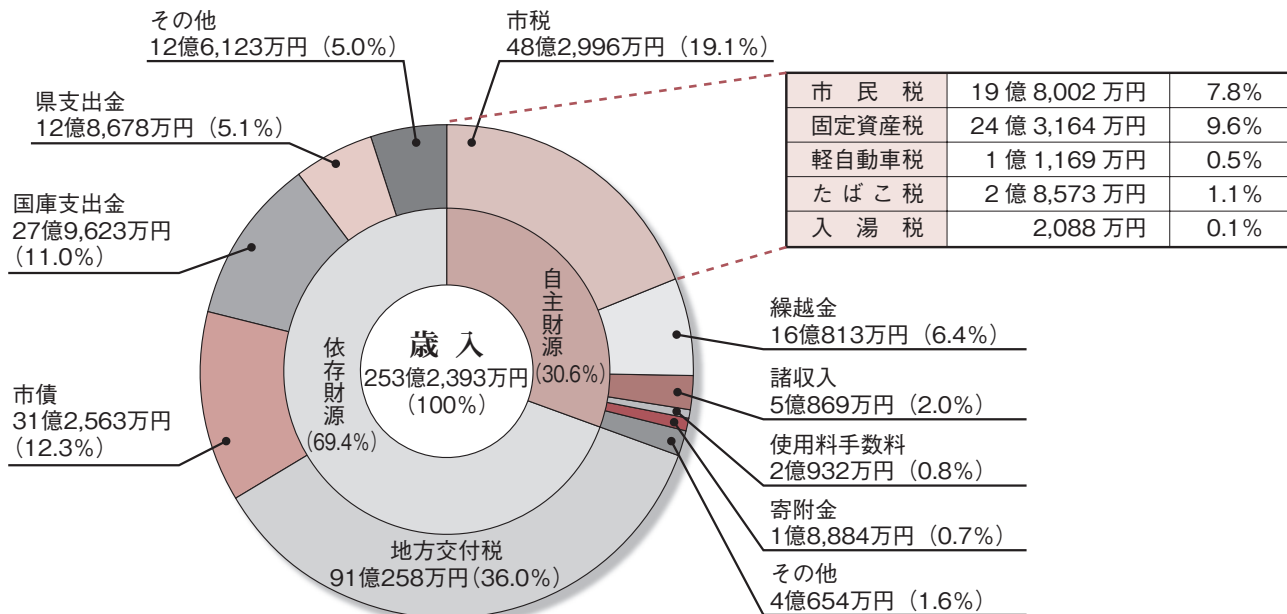
- P2～5 平成27年度決算報告
- P6～8 開院10年目を迎えた常陸大宮済生会病院
- P10～11 ふるさと応援寄附金
- P14～15 西塩子の回り舞台 第6回定期公演
- P12～22 まちのできごと

西塩子の回り舞台 第6回定期公演
(市立大宮北小学校4年生児童)

平成27年度決算報告

平成27年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。

そこで、市民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。



平成27年度の歳入は、地方消費税交付金は税率の見直しの影響により増収となる一方で、市税では個人市民税の所得割や法人市民税の法人税割が減収となり、普通交付税も合併算定替特例措置の縮減等により減額とはなりましたが、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金をはじめとする国県補助金及び市債等の活用により、所要の財源を確保しました。

歳出については、子育て世帯等の定住促進のための住宅取得奨励金、文化交流や親善を目的とした友好都市推進事業、乳児育児用品の購入に対する助成、15歳以下の児童がいる世帯への子育て応援商品券の配布、外来受診の医療福祉費支給対象の拡大、妊婦を対象としたマタニティサポート事業、プレミアム付商品券の発行、道の駅かわプラザの整備、大桂大橋・宇留野環橋及び辰ノ口橋の耐震補強工事、各種災害現場に対応するための消防本部訓練塔の整備、第二中学校改築工事など多岐にわたる事業を実施しました。

一般会計の歳入決算額は253億2,393万円、歳出決算額は234億7,017万円で、歳入歳出差引残額は18億5,376万円となりますが、翌年度に繰り越した事業に充てる財源として4億1,995万円を差し引いた実質収支額は14億3,381万円となります。

平成27年度特別会計・公営企業会計決算額

会計名		歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A－B)
国民健康保険	事業勘定	60億4,554万円	58億4,684万円	1億9,870万円
	診療施設勘定	1億7,747万円	1億6,787万円	960万円
公共下水道事業		6億2,763万円	5億7,648万円	5,115万円
公営墓地		1億297万円	3,437万円	6,860万円
農業集落排水事業		5億3,320万円	5億1,811万円	1,509万円
介護保険		48億7,752万円	46億7,557万円	2億195万円
簡易水道事業		7億7,722万円	7億3,455万円	4,267万円
宅地造成事業		2,441万円	2,412万円	29万円
戸別浄化槽整備事業		4,553万円	4,502万円	51万円
温泉事業		1億7,728万円	1億7,557万円	171万円
後期高齢者医療		4億5,777万円	4億5,729万円	48万円
上水道事業	収益的収支	8億6,435万円	6億9,888万円	1億6,547万円
	資本的収支	2,278万円	1億5,106万円	▲1億2,828万円
合計		147億3,367万円	141億573万円	6億2,794万円

※上水道事業会計の資本的収支の差引▲1億2,828万円（不足額）は、当年度分消費税資本的収支調整額、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

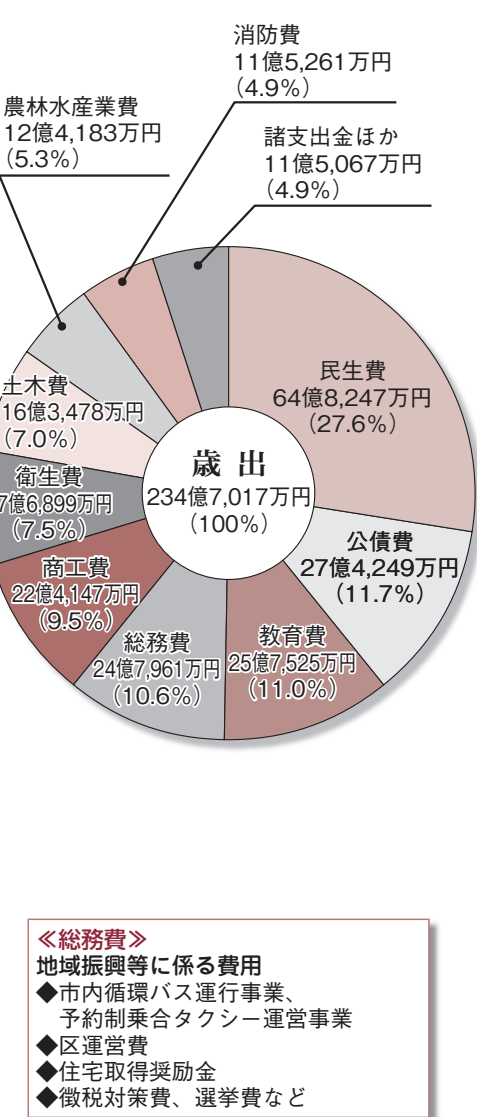
《消防費》
消防団運営、
消防施設等の整備に係る経費
◆消防水利（防火水槽・消火栓）整備事業
◆消防ポンプ自動車購入事業
◆消防救急無線指令センター整備事業
◆災害対策事業など

《農林水産業費》
農道・林道整備や
農林水産業振興等に係る費用
◆土地改良事業等による農道・排水路整備
◆県営負担金事業による基盤整備
◆林道整備事業
◆高井勝利森を活かし緑を育む基金を活用した林業振興事業
◆木造住宅建設助成事業など

《土木費》
道路・橋梁整備、
公営住宅管理等に係る費用
◆市道・橋梁整備事業
◆公営住宅、都市公園等管理事業など

《衛生費》
保健衛生、広域聖苑管理運営、
ごみ収集等に係る費用
◆健康診査、各種予防接種事業
◆常陸大宮済生会病院運営安定化支援
◆広域聖苑管理運営費
◆大宮地方環境整備組合負担金
◆ごみ収集委託など

《商工費》
商工振興に係る費用
◆商工会助成事業
◆観光振興対策事業
◆道の駅整備事業など



《諸支出金ほか》
基金積立、議会、雇用対策、
災害復旧等に係る費用
◆財政調整基金積立
◆市債管理基金積立
◆緊急雇用創出事業
◆台風等災害復旧事業など

《民生費》
障害者・高齢者福祉、
保育所費等に係る費用
◆障害者自立支援事業
◆保育所費、延長保育・休日保育実施助成
◆老人医療給付事業
◆児童手当
◆生活保護事業
◆医療福祉費
◆児童扶養手当
◆防犯対策事業など

《公債費》
過去の借入金の返済等に係る費用
◆元金償還
◆利子償還

《教育費》
小・中学校・幼稚園管理費、
生涯学習・スポーツ振興等に係る費用
◆小中学校校舎等の環境整備、備品の充実
◆小中学校通学対策事業
◆第二中学校改築事業
◆小学校英語指導員、中学校英語指導助手配置事業
◆中学生海外研修事業
◆青少年育成事業、文化センター・図書館管理運営費
◆スポーツ教室開催事業
◆学校給食センター運営費など

平成27年度末市債の現在高

区分		現在高
一般会計	合併特例事業債	58億5,932万円
	過疎対策事業債	35億2,644万円
	臨時財政対策債	107億3,664万円
	その他	59億4,776万円
	一般会計計A	260億7,016万円
※Aから地方交付税算入分を除いた市債残高		60億6,640万円

※印の区分は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて、実際に市が負担する見込み額です。

区分		現在高
特別会計・企業会計	国保診療施設勘定	1億2,445万円
	公共下水道事業	31億13万円
	公営墓地	2億3,070万円
	農業集落排水事業	34億3,059万円
	簡易水道事業	32億3,811万円
	宅地造成事業	2,221万円
	戸別浄化槽整備事業	1億4,968万円
	温泉事業	1億4,230万円
	上水道事業	8億7,439万円
	特別会計等計B	113億1,256万円
※Bから地方交付税算入分を除いた市債残高		70億913万円
合計 (A+B)		373億8,272万円
※合計 (A+B) から地方交付税算入分を除いた市債残高		130億7,553万円

市民1人当たり・1世帯当たりの基金及び市債の現在高

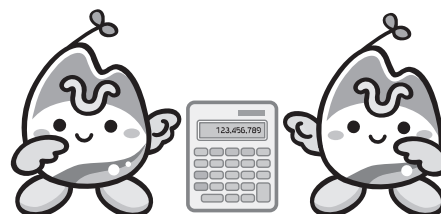
区 分		1人当たり	1世帯当たり
基金	積立基金	23万2千円	57万7千円
	定額運用基金	2万6千円	6万4千円
	合 計	25万8千円	64万1千円
市債	一般会計	59万4千円 (13万8千円)	147万6千円 (34万4千円)
	特別会計＋ 企業会計	25万8千円 (16万円)	64万1千円 (39万7千円)
	合 計	85万2千円 (29万8千円)	211万7千円 (74万1千円)

※上記の金額は、平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（43,894人、17,657世帯）を用いて算出しています。また、市債の「1人当たり」及び「1世帯当たり」の（ ）書きの金額は、地方交付税で補てんされる金額を除いた額になります。

市民の皆さんの市税負担額と市の歳出額

区 分	1人当たり	1世帯当たり
市税負担額	110,037円	273,544円
歳出額	534,701円	1,329,228円

※上記の金額は、平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（43,894人、17,657世帯）を用いて算出しています。



ひたまるさんち の家計簿

財政用語が難しい、金額の桁数が大き過ぎて実感がわかないといわれることが多いので、市の財政状況を身近に感じていただけるよう、一般会計の決算規模を5000分の1に縮小し、家計簿に例えて表現しています。市の財政と家庭の家計簿では仕組みが異なり、完全な置換えが難しいところがあることをご了解ください。

収 入				
収 入 費 目	歳入区分（目的別）	H27家計の収入	H26家計の収入	比較増減
給料	市税・分担金及び負担金・使用料及び手数料など	118万円	121万円	▲3万円
実家からの援助	地方交付税・各種交付金・国県補助金など	289万円	279万円	10万円
不動産収入	財産収入など	2万円	1万円	1万円
銀行などからの借入金	市債	62万円	70万円	▲8万円
貯金の取崩し	繰入金	3万円	1万円	2万円
前年度からの繰越金	繰越金	32万円	25万円	7万円
1年間の収入合計		506万円	497万円	9万円

支 出				
支 出 費 目	歳出区分（性質別）	H27家計の支出	H26家計の支出	比較増減
食費	人件費	76万円	78万円	▲2万円
電気・水道代などの日常生活費	物件費	66万円	62万円	4万円
医療費・介護費用など	扶助費	69万円	67万円	2万円
ローンの返済	公債費	55万円	58万円	▲3万円
家・車の修理代など	維持補修費	2万円	3万円	▲1万円
区会費・お祝金など	補助費等	40万円	39万円	1万円
子どもへの仕送り	繰出金	59万円	59万円	—
家の増改築・車の購入代など	投資的経費（普通建設事業費・災害復旧費）	81万円	79万円	2万円
友人への融資	投資及び出資金・貸付金など	2万円	1万円	1万円
貯金	積立金	19万円	19万円	—
1年間の支出合計		469万円	465万円	4万円

次年度への繰越金（収入－支出）		37万円	32万円	5万円
-----------------	--	------	------	-----

平成27年度

常陸大宮市の健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、平成27年度の健全化判断比率・資金不足比率を公表します。

財政健全化法は、地方公共団体の財政の健全性に関する指標の公表制度を設け、その比率に応じて財政の早期健全化及び財政の再生、公営企業の経営の健全化を図るための必要な対策を実施することにより、地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐことを目的としています。

早期健全化基準を超えた場合は財政健全化計画を、資金不足比率が経営健全化基準以上になった場合は経営健全化計画を定めることになります。

平成27年度決算に基づき算定された本市の健全化判断比率及び資金不足比率は、以下のとおりすべての指標において基準値を下回り、健全性を維持しました。

健全化判断比率

指標名	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	—※1	12.81%	20.00%	普通会計※2の赤字を標準財政規模※3と比較したものです。
連結実質赤字比率	—	17.81%	30.00%	市の全ての会計の赤字や黒字を合算し、標準財政規模と比較したものです。
実質公債費比率	8.6%	25.0%	35.0%	特別会計や一部事務組合等も含めた市の実質的な公債費を、標準財政規模と比較した3か年の平均値です。
将来負担比率	25.9%	350.0%		市の借金のほか関係法人等まで含めて市が将来支払わなければならない債務を、標準財政規模と比較したものです。

※1 赤字がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示しています。

※2 一般会計と公営墓地、温泉事業の2つの特別会計を合わせたものです。

※3 地方公共団体が標準的に収入されると見込まれる市税などの一般財源の規模を示すものです。

資金不足比率

会計名	資金不足比率	経営健全化基準	備考
上水道事業会計	—	20.0%	資金不足比率は、公営企業会計ごとの資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較した比率です。
簡易水道事業特別会計	—		
公共下水道事業特別会計	—		
農業集落排水事業特別会計	—		
戸別浄化槽整備事業特別会計	—		
宅地造成事業特別会計	—		

資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています。

■問い合わせ■ 財政課 財政グループ ☎52-1111(内線375)

開院10年目を迎えた 常陸大宮済生会病院



茨城県北西部地域住民の大きな期待を担い、平成18年7月3日に開院した常陸大宮済生会病院が10周年を迎えました。

常陸大宮済生会病院は、常陸大宮市と隣接する常陸太田市・那珂市・城里町・大子町の5市町で構成された総合病院誘致期成同盟が推進し、合併特例債を活用して建設された病院です。



病院長あいさつ

河野幹彦病院長

常陸大宮済生会病院は2006年（平成18年）7月3日に診療を開始し、満10年を迎えることができました。市民の皆様方には設立当初から本日に至るまで、大変なご支援いただいております。深く感謝申し上げます。

当院は、中核的な急性期病院がなかった茨城県北西部の救急医療に対応することを主な目的に、全国で80番目、茨城県内で5番目の済生会病院として設立されました。恩賜財団済生会は明治天皇の、「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」との済生勅語のもとに創立され、その趣旨に沿った無料低額診療事業は、済生会の大きな事業の柱となっております。当院の無料低額率は、全国の済生会病院の中でも上位のグループに位置し、地域の皆様に貢献しているものと考えております。

当院は開院当初から、「患者中心の医療」、「安全で質の高い医療」、「地域に開かれた病院」という3つの基本理念のもと、当院で受け入れ可能な患者様は全て引き受けるという考えで、365日24時間の二次救急医療を行っております。ただ、多くの診療科を持つ総合病院ではありませんし、医師不足の影響もあり、全ての患者様を受け入れることは不可能であります。救急医療の一つ目安として救急車の受け入れ台数があります。最近では1日平均3～4台、ひと月にしますと約90～120台の救急車を受け入れております。そのうちの約40%強の患者様が入院となっております。この数は当院の規模や医師数1人あたりにおいては決して少ないものではないことをご理解いただければと思います。

本年度は、県から自治医大卒業医師と県の修学医師の計5名、自治医大から外科と小児科で計5名の医師を派遣していただいておりますが、現在の医師数は私を含め13人と、非常に不足しており、地域の皆様にご不便をおかけしております。当院の機能や規模、さらに経営のことを考えますと、常勤医師として20名は欲しいところであります。特に、この地域に必要とされる整形外科医や脳神経専門医、そして循環器内科や呼吸器内科などの内科診療専門医の確保は、喫緊の重要課題であります。県および市のご協力・ご支援を得て医師確保に努力しておりますが、困難を極めているのが実情であります。医師不足解消の手だての一つとして、今いる多くの若い医師に長く勤めていただくこと、もう一度戻ってきていただくことがあります。その

ためには、病院は勿論のことではありますが、地域全体で医師を育てる、ということが重要であります。暖かい言葉で感謝の気持ちをこれまで以上に伝えていただき、成長させていただければと願っております。

最後に、常陸大宮市のまちづくりに対するアンケート調査では、医療サービスが充実すべき項目の第1位となっております。伊東紘一前院長の多大なご尽力により、当地域にとって必要不可欠な病院としての基礎が築かれました。開設10年の節目を迎え、「患者・家族・地域に優しい病院、愛される病院、信頼される病院」、「地域造りに貢献する病院」、「職員が誇りに思える病院」を合言葉に、これからも当院の使命を全うし、さらに発展していくために、職員一同心を合わせて地域の皆様のご期待にお応えする所存でございます。今後ともご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

【施設概要】

・病床数	一般156床（稼働135床）、感染4床
・診療科目	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌・代謝内科（糖尿病・脂質異常症）、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、肛門外科、皮膚科、形成外科、放射線科
・診療機能	第二次救急医療及びへき地医療に対応できる医療機関
・診療指定	救急告示病院 二次救急医療機関 へき地医療拠点病院 第二種感染症指定病院
・医療機器	マルチスライスCT（64列）、MRI（1.5テスラ）、3D超音波診断装置（iE33）、血管造影装置等
・設備	手術室（バイオクリーンクラス1000）、放射線情報システム（PACS）、オール電化厨房、売店等

開院10周年記念式典を開催しました



▲辺地診療を行う山元香代子先生

開院10周年イベントの第1部として、9月3日の午前中、市文化センターで記念式典を開催しました。

式典では、河野院長のあいさつ、橋本県知事や三次市長の来賓祝辞が行われました。続いて、ザンビアで辺地診療を行っている山元香代子先生が講師となり、厳しい環境で生き抜く人々への支援について講演。「一方的な支援ではなく、自分はこの活動からエネルギーや力をもらっている。一生懸命に生きている現地の人の姿に感銘を受けたことが、自分の原点である」と話し、その活動にたくさんの拍手が送られていました。

病院まつりを開催しました

開院10周年イベントの第2部として、9月3日の午後、病院まつりを開催しました。初めてのイベントで手探りでの開催となりましたが、病院駐車場が満車になるほどの来場と好評をいただき、大盛況のうちに終わることができました。心より御礼申し上げます。

※その他にも病院探検やナース服での写真撮影、展示コーナーなどの催しに多くの方にご参加いただきました。



ご来場ありがとうございました

病院まつりの各催しは、当院を身近に感じていただくため職員一同アイデアを出しあい、時間を掛けて準備してきました。今回大変多くの方にご来場いただき、ご好評をいただけたことは大きな励みとなりました。

これからも職員一丸となり、皆様に質の高い医療を提供できるようまい進してまいります。



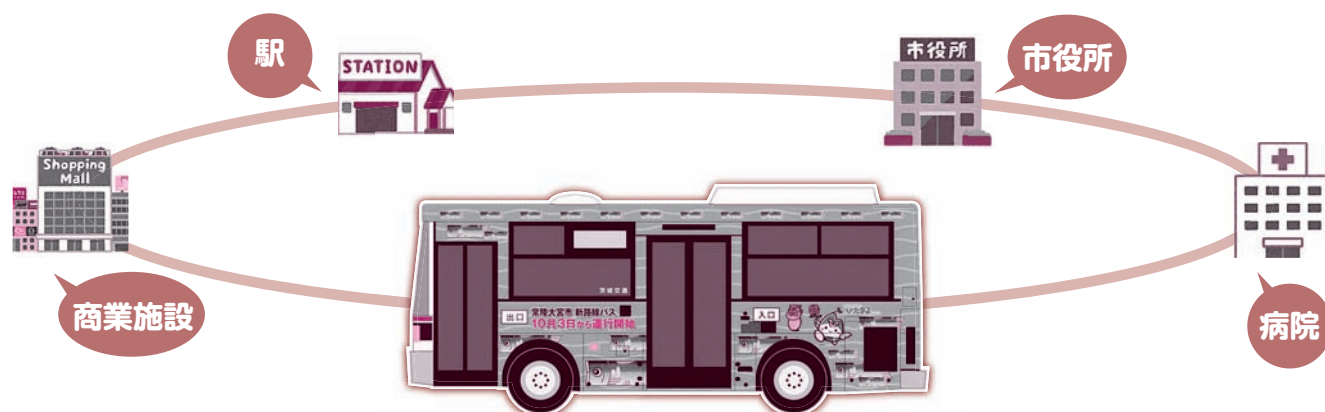


新路線バスが実証運行を開始！

10月3日から、常陸大宮市新路線バス（運行：茨城交通株式会社）が実証運行を開始しました。

これは、国の交付金を活用して県と市が連携して実施する「公共交通維持活性化事業」の取り組みの一つです。県では、公共交通維持の課題解決に向けたモデル事業として、他の県内自治体に広がることも期待しています。

市内を運行する新しい3つの路線については、学識経験者、地域住民、利用者代表、学校関係者、交通事業者などで構成する「公共交通システムマネジメント常陸大宮地区協議会（会長：茨城大学山田教授）」で検討し、次のとおり運行の期間や内容などを設定しました。



<期 間> 平成28年10月3日(月)～平成29年3月31日(金)

※ 利用状況などを分析し、本格運行や期間延長について検討します。

<路 線>

路 線	内 容
市 内 循 環 線 (運賃：170～200円)	JR常陸大宮駅、商業施設、医療機関、公共施設などを結び、市街地を循環する路線。ビサー口など市街の商業施設のほか、済生会病院、道の駅かわプラザを経由する便も有。
小 場 ・ 村 田 線 (運賃：170～420円)	JR常陸大宮駅と小場公民館を結ぶ路線。第二中学校、北西看護学校などを経由。
緒川・玉川村駅前線 (運賃：170～370円)	JR玉川村駅と緒川総合支所を結ぶ路線。小瀬高校への通学、水戸方面の通勤・通学に便利。

<運行開始式の様子：10月3日>

イオン常陸大宮店で、新路線バスの運行開始式が行われ、協議会委員や市議会議員などが出席し、新しい3路線の出発を見送りました。

式では、事業主体である県や市、運行事業者があいさつ。綿引副市長から「地域と事業者、行政が一体となって連携し、公共交通の利用促進を進め、大勢の方々にご利用いただき、地域の活性化に努めたい」と新路線バスへの期待の言葉がありました。

続いて来賓祝辞の後、テープカットや運転手への花束贈呈が行われ、大勢の市民が見守る中、あゆのぼりやひたまるなどでラッピングされた新車両が出発しました。



▲テープカットの様子

運行時間・ルート・停留所等は、9月26日に市内各戸へ時刻表（チラシ）を配布しています。

■問い合わせ■ 茨城交通株式会社 大宮営業所 ☎52-1100【運行内容】
企画政策課 企画政策グループ ☎52-1111（内線309）【事業内容】

8月29日、「ふるさと応援寄附制度」により、寄附金をお寄せいただいた方に贈る返礼品のリニューアルを行いました。

リニューアルするにあたり、市役所で贈呈品の披露式を行い、追加された贈呈品をメディア等に紹介。今回追加した贈呈品の提供会社である「株式会社サザン珈琲」と「有限会社モーハウス」からは、自社商品の強みや特徴などについて説明がありました。



株式会社サザン珈琲



有限会社モーハウス

《寄附のお申し込みは下記URLよりお願いします。》

<http://www.citydo.com/furusato/official/ibaraki/hitachiomiya/>

今回のリニューアルでは、寄附に対する贈呈品の品目を追加。寄附金額に応じた贈呈品を取り揃えることで、よりバラエティに富んだラインナップとしました。どれも市が誇る厳選された特産品ばかり。ふるさと応援寄附により、市の魅力をより広くPRしていきます。

○主な追加商品を紹介



瑞穂農場で育てた
常陸牛サーロインステーキ
(有限会社瑞穂農場)



生クリーム大福
詰め合わせセット
(有限会社菓子処ふるさわ)



奥久慈漆塗り
蒔絵ボールペン
(漆工房荻房)



那珂川一日カヌー体験
(ストームフィールドガイド)

ふるさと応援寄附金

市では、ふるさとを愛し、応援しようという方の思いを実現するため、ふるさと応援寄附制度を実施しています。

今回は、平成25年度中にお寄せいただいた寄附金（3,991,937円）を、寄附者の意向に沿って、平成27年度の各種事業に有効活用させていただきましたので、お知らせします。

●未来を担う人づくり支援に関する事業：1,800,937円

船で共同生活を送ることで、仲間を思いやる気持ちや地域を越えた児童同士のふれあい、また出会いの大切さを学ぶことを目的とした、「ふれあいの船事業」に要する費用として活用しました。



●自然環境保全支援に関する事業：744,000円

環境美化活動の推進や、環境の保全に係る取り組みの推進を図るため、市内クリーン作戦の実施に要する費用として活用しました。



応援ありがとうございます

●地場産業支援に関する事業：

309,000円

地場産業の発展や活力ある観光の振興を図るため、常陸大宮の食の味自慢が大集合する「第5回常陸大宮ふるさとB級グルメ選手権」の開催に要する費用として活用しました。



●芸術文化・スポーツ振興支援に関する事業：514,000円

スポーツによる体力づくりや、アマチュア精神の高揚を図るとともに、住民相互の親睦を深めることを目的としたスポーツ教室の開催に要する費用として活用しました。



●その他（市長が必要と認める事業）：

624,000円

市の将来を担う人材育成のために、補充的な学習の場の充実や学習環境（学校図書館）の整備、授業の質の向上をとおして児童生徒の学力向上を図ることを目的とした「常陸大宮っ子学力アップ推進事業」に要する費用として活用しました。



皆さんからの善意に心から感謝申し上げますとともに、今後とも、ふるさと「常陸大宮市」へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

▶野澤さん（辰ノ口）



▶小池さん（鷹巣）



▶樋田さん（泉）



▶長山さん（若林）



▶野上さん（若林）



▶川崎さん（長倉）



▲神長さん（家和楽）

長寿をお祝いしました

9月の敬老の日にあたり、市長と副市長が100歳以上のご長寿の方々を訪問し、市及び市社会福祉協議会からの祝い金や記念品を贈りました。また、今年度100歳を迎えられる方には、内閣総理大臣と県知事からの褒状・記念品を贈り、長寿をお祝いしました。

10月1日現在、100歳以上の方は50人（男性9人、女性41人）で、昨年より2人増えました。下の表は、平成28年度中に100歳以上を迎える皆さんです。

市内100歳以上の皆さん

（敬称略）

平成28年10月1日現在

年齢	氏 名（住所）	年齢	氏 名（住所）
111	小野瀬 くに（山 方）	100	富 山 みさを（上 村 田）
106	塙 毅（東 野）	100	會 澤 て う（野 口 平）
104	立 原 と き（西 野 内）	100	ト 部 マ サ（鷹 巣）
103	青 山 キクノ（檜 山）	100	桑 名 千代子（松 之 草）
103	大 槻 き み（下 町）	100	郡 司 信（上 小 瀬）
103	石 川 魁 治（下 檜 沢）	100	大 賀 残 米（高 渡 町）
103	平 塚 定 芳（上 檜 沢）	100	坏 ス テ（鷹 巣）
103	萩 谷 ヨ 子（上 町）	100	寺 門 眞（上 村 田）
102	森 田 た ま（野 口 平）	100	中 島 ちづる（西 野 内）
102	原 花 子（栄 町）	100	野 上 う め（若 林）
102	後 藤 み わ（野 口 平）	99	小 池 い ね（鷹 巣）
101	中 西 ア サ（西 野 内）	99	野 澤 ひ て（辰 ノ 口）
101	掛 札 も と（小 貫）	99	關 キヨノ（上 小 瀬）
101	大 森 き わ（上 大 賀）	99	神 長 政 雄（家 和 楽）
101	大 森 き く（西 野 内）	99	大 内 と き（鷹 巣）
101	相 澤 ふ よ（鷹 巣）	99	大 友 ト ミ（山 方）
101	瀬 尾 さ き（野 上）	99	木 村 みつい（西 野 内）
101	皆 川 ふみ子（野 口）	99	川 崎 はやの（長 倉）
101	立 原 は つ（若 林）	99	長 山 よしゆ（若 林）
101	高 石 芳 枝（田子内町）	99	小 林 喜美枝（小 場）
101	高 橋 保 夫（上 町）	99	小 口 シ マ（野 上）
101	蓮 田 フミノ（中 居）	99	樋 田 し ん（ 泉 ）

*掲載を希望されない方の氏名は掲載していません。



▲鈴木さん（長沢）



▲小口さん（野上）

9/17~

興味がある人もない人もアートの世界へGO！

茨城県北6市町を舞台とした国際的なアートの祭典「茨城県北芸術祭」が、11月20日まで開催中。

本市では旧美和中学校他3会場が舞台となり、ふだん見ることができない気鋭の現代アーティストによる作品が展示されています。

旧家和楽青少年の家を訪れた人は、「現代アートと聞くと分かりにくいイメージだったが、想像の枠を超えた作品に感動した」と話していました。

アートに興味がある人もない人も、ぜひ一度お越しください。心を揺さぶる芸術作品に巡り合えるかもしれません。

<作品鑑賞パスポート>

- ・一般：2,500円
- ・学生（高校生・大学生など）、高齢者（65歳以上）：1,500円
- ・中学生以下と身体障害者等：無料
- *個別鑑賞券も各会場で販売中。
（旧美和中学校700円、旧家和楽青少年の家500円）
- *無料で鑑賞できる会場もあります。



▲自然豊かな環境の旧美和中学校が展示会場に



▲旧家和楽青少年の家

▲石沢地区空き店舗（上）
道の駅常陸大宮（下）

8/6

西の内紙で手作りうちわ作っちゃいました!!

道の駅常陸大宮かわプラザで、「本場の『西の内紙』でMyうちわを作っちゃおう!」というワークショップが開催されました。

これは、本市特産の西の内紙（県指定無形文化財）を身近に感じ、普段の生活で使ってもらおうと、和紙文化展開プロジェクトチーム（菊池三千春代表）が、文化庁の補助事業として実施したものです。

この日飛び入り参加を含む24組が、うちわ作りに挑戦。お気に入りの写真をプリントしたり、自由に絵を描いたりして、竹製のうちわの骨に和紙を貼り、

世界にひとつのオリジナルうちわを完成させました。

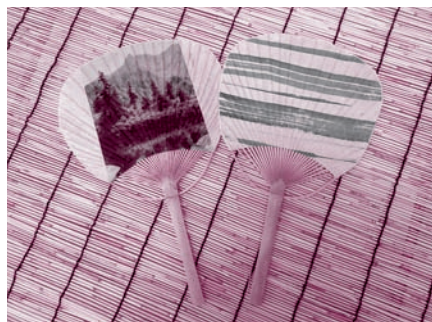
参加者は西の内紙にプリンターで印刷できることや、たっぷり糊を塗って濡らしても破れない丈夫さにビックリ。風合いだけではなく、ホンモノの和紙の実力を体感していました。

12月3日には、「西の内紙で作っちゃおう!」第二弾として、ぼち袋作りを計画中。もらう人もあげる人も、来年のお年玉袋はこれで決まり!

詳細が決まり次第、広報常陸大宮お知らせ版に掲載します。



▲大人も子どもも真剣にうちわ作り



▲お気に入り写真のオリジナルうちわ(左)



▲世界にひとつのMyうちわ完成!



常磐津「子宝三番叟」

口上を述べる小口さん

地芝居「三人吉三巴白浪」

舞踊劇「鏡岩」

市国際交流協会「SHIRANAMI」

常磐津「将門」

地芝居「吉例曾我対面工藤館の場」

出演者のお練り

回り舞台見学ツアーを開催

10月9日、回り舞台を見学するツアー（まちづくりネットワーク主催）が、保存会の協力で開催されました。このツアーは、公演を翌週に控える中、本公演をより楽しむために実施。実際に舞台が回る仕組みを間近で見学でき、貴重な体験ができました。また歌舞伎の稽古をしていた子どもたちへ、ツアー参加者から「本番も頑張ってるね」という声援が送られました。

参加者からは、「実際に舞台の下に入って回すところを見られてよかった」という声が多く聞かれ、本公演がさらに楽しみになったようでした。



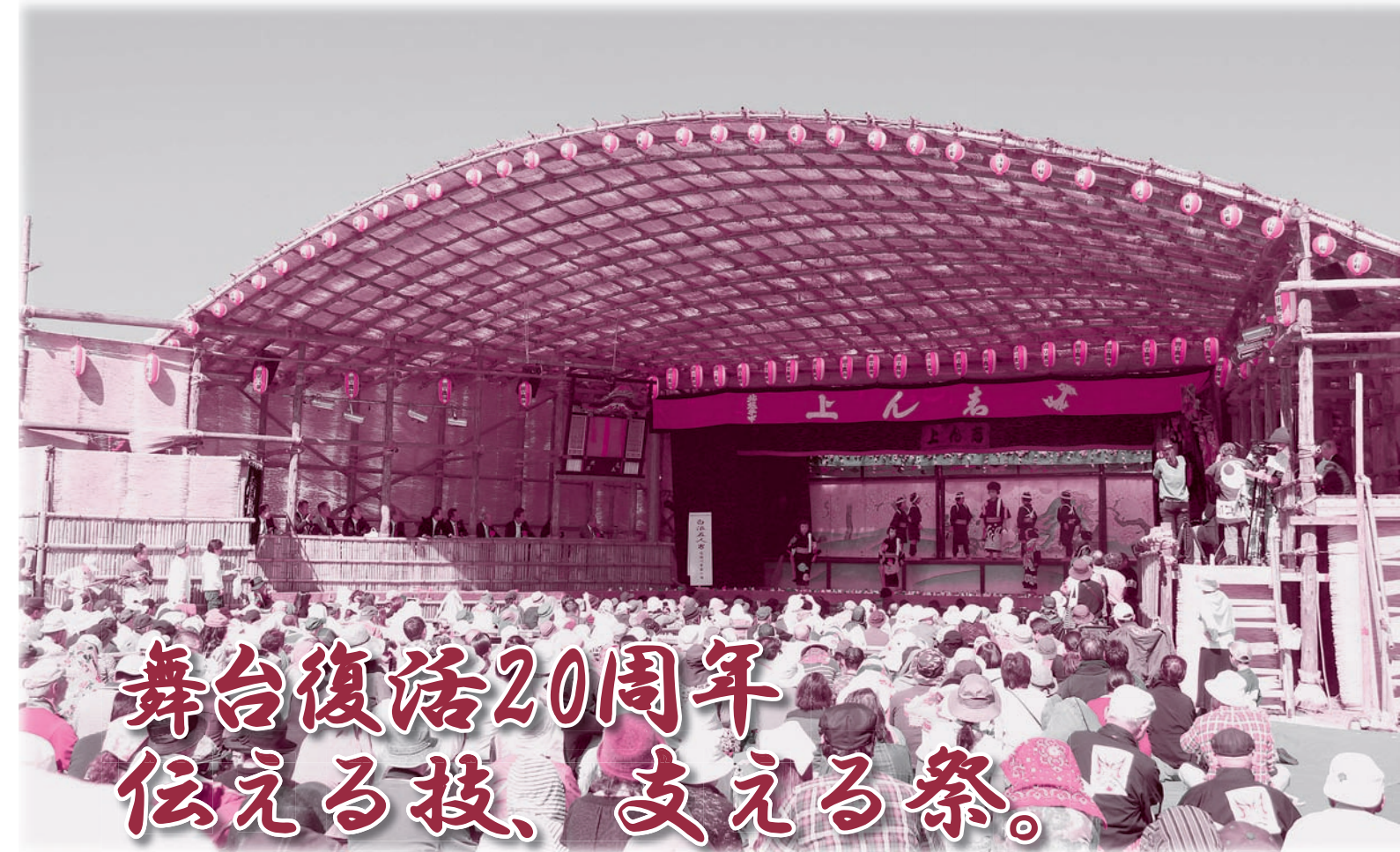
常磐津「将門」

西塩子の回り舞台 第6回定期公演開催

10月15日、日本最古の組立式農村歌舞伎舞台「西塩子の回り舞台」が、3年ぶりに大宮公民館塩田分館グラウンドで開催されました。

8月27日に地鎮祭が行われ、組立て作業が始まりましたが、今年は雨が多く作業は難航。公演日までの約2か月間、保存会のメンバーや地域住民、ボランティアの皆さんが、竹の切り出しから舞台の組立て、舞台背景描きなどに携わり、多くの人たちの力によってこの日を迎えました。

当日は秋晴れとなった会場に約五千人が来場。出演したのは、大宮北小学校4年生の児童、秩父歌舞伎正和会、常磐津教室、楽の会、西若座の皆さん。出演者の迫真の演技や堂々としたセリフ回しにおひねりの雨が降り、大きな拍手が鳴り止みませんでした。また幕間には、市国際交流協会の寸劇、西野内祇園囃子、舟生屋台ばやし、鷺子祭囃子の披露があり、来場者を楽しませました。



舞台復活20周年 伝える技、支える祭。



ボランティア説明会

舞台資材の説明

舞台背景制作中

地鎮祭

NHK「いば6」に出演



8/26

国土交通大臣賞を受賞

美和地域の上郷道路愛護会（会員48人）が、道路の愛護に努め顕著な功績があったとして、国土交通大臣から表彰されました。

上郷道路愛護会は、平成元年から県道上檜沢下小川停車場線（下檜沢地内）の沿道清掃・除草・花壇の手入れなどを行って、それらの活動に対し大臣より感謝状が贈られたものです。

代表の成井文夫さん（写真前列中央）は、受賞のあいさつで「今後も地元の協力を得て、できる範囲で活動を続けたい」と話していました。



▲表彰された上郷道路愛護会

9/21

道の駅で「いばらナイト」

道の駅常陸大宮かわプラザで、NHK水戸放送局「月に一度はいばらナイト」の生中継が行われました。

中継では、地元の農産物や道の駅を応援してくれる市民の皆さんが市をPR。さらに西塩子の回り舞台の紹介では、白浪五人男の衣装に身を包んだ大宮北小学校の児童が、歌舞伎の口上を披露。照れながらも一生懸命なセリフ回しに、たくさんの拍手が上がっていました。そして最後に、「みんなでいばらナイト！」の掛け声で、中継を締めくくりました。



▲イベントひろばでオープニングを収録

8/31

災害時における避難所等の協定を締結しました

市では、誰もが安全で安心に暮らせる災害に強いまちづくりを目指し、様々な応援協定を締結しています。今回、県立小瀬高等学校と災害時における避難所等の施設利用に関する協定を締結しました。また、社会福祉施設を運営する5法人・6施設と、災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました。

福祉避難所は、大規模な災害が発生した時、指定避難所に避難した高齢者や障がいがある方など、避難所での生活に支障をきたし、特別な支援や配慮を必要と

した場合に、市が要請し開設する避難所です。ただし、直接福祉避難所に避難することはできませんので、ご注意ください。

今後も、福祉避難所を確保していくよう努めていきます。今回協定を締結した施設は、次のとおりです。

<指定緊急避難場所を兼ねる指定避難所>

施設名	所在地
茨城県立小瀬高等学校	上小瀬1881

<福祉避難所締結先>

No.	施設名	所在地	締結法人名
1	特別養護老人ホームみのり園	鷹巣2243-1	社会福祉法人 若葉会
2	特別養護老人ホームドルフィン	泉497-1	社会福祉法人 永寿会
3	特別養護老人ホームおがわ	上小瀬4425	社会福祉法人 小瀬福祉会
4	特別養護老人ホームサングリーンピア山方	西野内1537-1	社会福祉法人 清河会
5	特別養護老人ホーム御前山フロイデガルテン	野口平146-1	社会福祉法人 博友会
6	地域密着型介護老人福祉施設大宮フロイデドルフ	抽ヶ台町889-1	



▲合同調印式を行った施設代表の皆さん

8/3~
26

公民館子ども体験講座を開催しました

夏休み期間中に、大宮・緒川・御前山公民館で「公民館子ども体験講座」を実施。小学生延べ206人が様々な講座に参加しました。

2年目となるこの取り組みは、今回から市内全域が対象。22講座・24団体の協力を得て、大正琴や茶道、陶芸など学校や家庭ではあまりできない体験をすることができました。

ご協力いただいた文化協会団体

大正琴薫風・常陸大宮太極拳クラブ・竹の子クラブ・嫡流剣詩舞電晃会・書道クラブ・書道第2クラブ・大宮愛基会・江戸千家茶道教室・池坊菊池社中・草木染めクラブ・パッチワーククラブ・ひまわりクラブ・大宮手編みクラブ・池坊中崎社中・表千家茶道教室・常陸大宮吹奏楽団・きりえ愛好会・津軽三味線悠絃・陶芸クラブ・サロン花工房・裏千家茶道教室・緒川弥七太鼓・墨龍書会・茶の湯愛好会



▲囲碁（大宮）



▲和太鼓（緒川）



▲書道（御前山）



GOOD DESIGN AWARD 2016

BEST 100



グッドデザイン賞受賞!

ウダーベ音楽祭は2016年度グッドデザイン賞グッドデザイン・ベスト100を受賞しました! グッドデザイン・ベスト100とは、2016年度グッドデザイン賞受賞対象の中で、審査委員会により特に高い評価を得た100件です。応募&受賞カテゴリーは「地域・コミュニティづくり/社会貢献活動」の部門です。

9/14

農家民泊で交流

今年度2回目となる、緒川地域民泊体験推進協議会主催の教育旅行受入が実施されました。この事業は、都会暮らしの子どもたちが、豊かな自然に囲まれた里山に暮らす人々と生活を共にし、心温まる交流をおして生きる力を育む体験プログラムです。この事業を取り入れる学校が年々増加していて、元気いっぱいの子どもたちとの交流は、地域の活性化にもつながっています。

今回は、つくば市立荃崎第一小学校の5年生109人。人数が多く、受け入れが難しい状況でしたが、新しい会員の加入や各家庭の受け入れ人数を増やすことで対応しました。

期間中は天気に恵まれ、野菜や果実の収穫・稲刈り・魚釣り・ハイキングなどを体験。食事は、地元の新鮮な食材を使って子どもたちが自ら料理をし、その味に舌つづみを打っていました。



◀収穫した野菜を洗う子どもたち

9/24

恒例の「星まつり」を開催

花立自然公園（美和地域）で、「第26回花立山星まつり」が開催され、午後から小学生ポスターコンクールの表彰式でスタート。はじめに明峰中学校の演奏が披露され、たくさんの拍手が送られていました。しかし途中から雨が降り出し、来場者は残念そうに空を見上げていましたが、後半には雨もやみ、茨城県北芸術祭「だいちの星座」の鈴木・大木先生による講演でまつりを締めくくりました。



▲ 雨でもたくさんの来場者でにぎわいました

9/18

大きさや美しさを競う

お化け南瓜コンテスト（主催：かざぐるま出荷会）が、緒川物産センターかざぐるままで開催されました。

重量部門で優勝したのは、小野十三男さんの100.2kg。他にイケメン部門では本橋孝さん、ユーモア部門では川野辺博さんがそれぞれ優勝し、表彰されました。

出品されたかぼちゃは、国営ひたち海浜公園や、東京都豊島区の西武池袋本店などで展示される予定です。



▲ 自慢のかぼちゃが並びました

9/6

NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の撮影が行われました

11月のクランクインに先駆けて、市内で撮影が行われ、美しい田園風景の中をボンネットバスが力強く走り抜けました。

物語の時代は高度成長期。ヒロインが地方（茨城県北西部の村）で育ち、都会に出て自らの殻を破りながら成長していく姿を描きます。脚本の岡田恵さんは、「日本の原風景がありながら、意外と知られていない茨城の魅力を全国に伝えたい」とこの地域を舞台に選びました。

「ひよっこ」の放送は来年4月3日（月）～9月30日（土）までの全156回の予定です。ご期待ください。



◀ 黄金色に輝く田園の中を走るボンネットバス

いっしょにまちづくり

大学の「地域課題入門」という授業で、常陸大宮市について学びました。授業は、常陸大宮市の課題、特に公共交通について考え、提案を行うというものでした。私の班は「手ぶらでも参加できる市内のバスツアー」、「読書ができる、病院予約ができるなどの便利なバス」等を提案しました。この授業をとおして常陸大宮市のまちづくりに対する真剣な姿勢、楽しみながら地域活性化の活動をしている方々がたくさんいることを知り、自分もここにもっと関わりたい！と考えるようになりました。現在は、西塩子の回り舞台などのお手伝いをしています。常陸大宮市は、少子高齢化・人口減少とそれに伴う問題を抱えているとのことですが、これからも様々な活動に積極的に参加し、学生の輪を広げながら知識を深め、学生の視点から問題に向き合っていきたいと思います。



茨城大学人文学部
1年 長永勇太

中学生が県総体で活躍!! 教育長賞を受賞

<大宮中学校サッカー部>

県中学校総合体育大会第3位

【2日目】

準々決勝 大宮中 2-1 神栖二中

【3日目】

準決勝 大宮中 0-1 勝田二中



▲教育長賞を手に、笑顔の大宮中学校サッカー部

<卓球個人>

四倉 鈴（大宮中3年）▶

個人戦シングルス1位
（関東大会出場）



◀會澤 榛夏（大宮中3年）

個人戦シングルス3位
（関東大会出場）

佐藤 幸美（明峰中3年）▶

個人戦シングルス5位
（関東大会出場）



9/29~

常陸大宮市へようこそ! ~ホームステイ受入事業~

本市では2年に一度、オーストラリアの学生が市内の中学生宅にホームステイする事業を行っています。

今回は、9月29日から10月2日までの4日間滞在しました。来市した学生は、中学生海外派遣研修事業で交流のある学校の生徒24人です。

初日は市役所を訪問した後、市内の各中学校5校に向かいホストバディと顔合わせをし、一緒に給食や授業、部活動を体験。夕方には、文化センターで久慈書道会による書道パフォーマンスを見学した後、歓迎レセプションで軽食を取りながらホストファミリーと交流をしました。

2日目は、紙のさとで漉き絵とサロン花工房の協力で押し花を体験し、日本の文化に触れました。そして3日目は、それぞれの家庭で自由に過ごしました。着付け体験やバーベキューを楽しむ家庭もあり、受け入れ家庭からは、「はじめは緊張したけれど、次第に会話が増え、ふだん味わえない充実した時間が送れた」との声がありました。

最終日のお別れセレモニーでは、「また来るね」、「今度はオーストラリアに行くよ」と再会を約束し、帰国の途につきました。



▲迫力ある書道パフォーマンスを楽しみました



▲押し花にチャレンジ



▲また会おうね! ありがとう!

9/25

子ども会リーダーを育成

やすらぎの里公園で「市子ども会幹部研修会」が実施されました。市子連の理事など役員の他に、茨城大学生や高校生会のサポートのもと、各子ども会から52人が参加し、8班に分かれて活動しました。

午前中は「チームビルディングを作ろう！」で、A4の色紙だけを使い、どれだけ高くできるかを班で競い合いました。午後は、市の歌を班ごとに分担して練習し、最後に全員で歌を繋ぎながらきれいなハーモニーを響かせることができました。

児童たちは、班の仲間と協力し、目標を立て、意見を出し合いながら課題に立ち向かい、これからの子ども会のリーダーとして、頼もしい存在になりそうです。

仲間と協力して制作中▶



<参加者の感想>

- ・初めて会う人と仲良くなれてよかった
- ・協力する大切さを学べた
- ・今日学んだ事を生かして子ども会をもっと良くしたい

9/25

県北操法競技大会

秋晴れの下、太子広域公園で「第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会」が開催され、本市の代表2チームがそれぞれ優秀な成績を収めました。



ポンプ車操法の部
優勝
第11分団
(美和地域)



小型ポンプ操法の部
第3位
第13分団
(緒川地域)

<優秀選手賞>

- ・ポンプ車操法の部 大森俊介・長岡秀典・大森正人
- ・小型ポンプ操法の部 三村正規

VOL.28

職員のつぶやき ~職員リレートーク~

今年環境課に配属になりました、益子景です。

毎朝、職場まで車で30分の距離を運転するのですが、季節ごとに染まる山々を見ることができ、出勤時間も贅沢なドライブのように感じます。

環境課の業務は幅広く、一般ごみに関すること、公営墓地の管理、エコへの取り組みや動物愛護業務など多岐にわたります。市民の皆さんと話す機会も多く、住んでいるからこそ気づく視点からの意見は、日々の業務のモチベーションになっています。

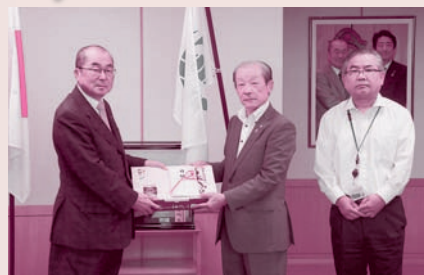
今後も一つ一つの仕事に真摯に取り組む、先輩方の背中を追いつけるよう、精一杯頑張ります！



▲久慈川水質調査にて

善意をありがとう

(敬称略)



〈学校給食へ〉
常陸農業協同組合
奥久慈の恵
うまかっぺ米
400kg

9/21

小瀬高校で生徒交流事業 ～ふれあいキャンパス～

県立小瀬高校で、連携型中高一貫教育校の生徒交流事業「ふれあいキャンパス」を開催しました。

この事業の実施にあたっては、5月と8月に中高の教員が会議で内容を検討し、さらに教科ごとに集まって何度も協議を重ねました。昨年までの隔年の実施を今年から毎年開催することで、授業の質を高め、生徒間の交流をさらに深めることを目指しました。



英語を使って弓道を楽しもう



人工イクラを作ろう



振り子の世界



閉会行事（平塚生徒会長あいさつ）



まずは自己紹介から

今回は第5回目の実施で、県内で唯一の連携型中高一貫教育校である、小瀬高校・明峰中学校・御前山中学校の教員が講師となり、各学校の生徒計390人に16講座、計2時間の授業を行いました。

講座は、「振り子の世界」や「人工イクラを作ろう」などの科学、英語を使っている漫画や弓道体験、森林組合やバイオマス発電等の見学など、多様な分野を用意。特色ある授業を受けることができたようです。

閉会式では「高校生と身近に交流できてよかった」、「いろいろなことを教わることができて、有意義な時間が過ごせた」などの感想がありました。

第1回市議会臨時会

平成28年第1回常陸大宮市議会臨時会が8月10日から19日に開会され、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、可決されました。

○工事請負契約の締結について（第二中学校屋内運動場改築工事）

第3回市議会定例会

平成28年第3回常陸大宮市議会定例会が、8月30日から9月20日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ認定、同意及び可決されました。

平成27年度決算

- 常陸大宮市一般会計歳入歳出決算・特別会計（10会計）歳入歳出決算の認定について
- 常陸大宮市上水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算の認定について

条 例

- 常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び常陸大宮市特別会計条例の一部を改正する条例

平成28年度予算

- 平成28年度那珂地方公平委員会特別会計予算

平成28年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（4会計）補正予算・上水道事業会計補正予算

そ の 他

- 那珂地方公平委員会規約の変更について
- 市道路線の認定・廃止・変更について
- 工事請負契約の締結について（辰ノ口橋橋梁耐震補強工事）
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 平島 則子
- 監査委員の選任について 掛札 行雄

スポーツ大会結果

秋季平成杯軟式野球大会

開催日：9月4・11・25日

主催：市軟式野球連盟（塩澤寛会長）

会場：大宮運動公園市民球場 他3会場

参加チーム：22チーム

優勝 CLUBウイングス 準優勝 不二クラブ

最優秀選手賞 飯田 博之（CLUBウイングス）

優秀選手賞 若杉 良平（CLUBウイングス）

敢闘賞 鈴木 駿（不二クラブ）



▲優勝したCLUBウイングス

第11回一般女子バレーボール大会

開催日：9月25日

主催：市バレーボール連盟（青木秀雄会長）

会場：西部総合公園体育館

参加チーム：11チーム

優勝 グルービー 準優勝 JBクラブ



▲優勝したグルービー

第12回常陸大宮市男女ダブルステニス大会

開催日：9月25日

主催：市テニス連盟（片野良平会長）

会場：西部総合公園テニスコート、家和楽運動公園テニスコート

【男子ダブルス】

優勝 清水 洋明・大内 和美

準優勝 会沢 幸洋・菊池 司

第3位 西野 好彦・松岡 光男

【女子ダブルス】

優勝 横塚 初江・貝 智子

準優勝 金子佐久美・横須賀香菜子

第3位 石川 節子・梶山 千春



▲それぞれ入賞した皆さん

常陸大宮市長杯第1回東日本少年剣道錬成大会を開催

9月11日、小中学生を対象とした常陸大宮市長杯剣道大会が開催されました。これは、試合を通じて競技力の向上と心身の練磨、相互の親睦を図り、将来を担う健全な青少年の育成を目的としていて、今回が記念すべき第1回開催となりました。

大会は、東日本各地から144団体264チームが参加。開会式では、上野剣道クラブの五十嵐陸音さんが、力強く選手宣誓をしました。試合は、「いばらき少年剣友会」が小学生低学年や中学生の部で優勝するなど、県内選手の活躍が光る大会でした。



▲開会式の様子

選手宣誓をする五十嵐陸音さん▶

地域おこし協力隊

No.6

がゆく

移住コンシェルジュの木元です。

最近、常陸大宮市について知る活動に加え、他地域での取り組みについても学んでいます。9月9・10日に行われた「いばらき地域づくり人材育成講座」では、つくば市北条地区で地域活性化に取り組んでいる方から話を聞くことができました。「若者が外へ出て行ってしまい、高齢化が進んで地域の元気がなくなってしまう」というのは、どこの地方も共通の課題です。

しかしそこに、世代と地域を越えた交流が生まれることで、住民が誇りと元気を取り戻し、これまで自分たちだけでは出来なかった新しい活動が生まれます。これこそが地域活性だ！と感じました。

そして私たち地域おこし協力隊の役割も、まさにこのような交流を生む「ことおこし」をすることだと思いました。常陸大宮市と若い世代・都市部の人をつなぐ活動を展開していけるよう、頑張っていきたいと思います。



『地域資源×自分の能力』
できそうな事を発表



2枚の写真は、国登録有形文化財の土蔵造りの蔵の中で行われたワークの様子です。実際に見て回って発見した地域資源と自分の長所・できる事を活かして、どのような活動が展開できるかグループで話し合いました。

常陸大宮市史編さんだより

Vol.2

○新しい市史をつくる

「市史」「町史」「村史」という、いわゆる自治体史は、自分たちの住む土地がどのような歴史をたどってきたかを知る貴重な資料です。

本市では、かつて旧町村ごとに自治体史が作られていましたが、中には刊行から40年近く経過しているものもあり、最新の調査成果が反映できていません。

新たに編さんされる「常陸大宮市史」では、近年発見された資史料や研究の成果を盛り込むとともに、他地域との関係を広い視点で捉えながら、皆さんと一緒に新しい市史を作ることを目指します。



▲ふすまや屏風の裏に古文書が貼られていることもあります

町村名	自治体史(市町村史)	発行年
大宮	大宮町史	昭和33年
	大宮町史	昭和52年
	大宮町史資料集	昭和55年
山方	山方町誌 上	昭和51年
	山方町誌 下	昭和57年
緒川	緒川村史	昭和57年
御前山	御前山郷土誌	昭和51年
	御前山郷土誌改訂版	平成2年
美和	美和村史	平成5年

▲これまでに刊行された自治体史一覧

○意外と身近な場所にある「文化」

普段は気づきにくいかもしれませんが、本市には、貴重な歴史資料や史跡が数多く残されているほか、古くから伝わる文化や伝承も豊富です。しかし、それらの中には、時間の経過とともに忘れ去られつつあるものや、すでに失われてしまったものも存在します。皆さんが幼い頃から慣れ親しんだ言い伝えや行事、あるいは自宅に眠ったままの史料など、意外と身近なところにそうした文化は存在します。

市史編さん事業は、先人たちによって紡がれてきた歴史や伝統を見直し、光を当てる事業でもあります。祖先や私たちの誇りを未来へ引き継ぎながら、新たな常陸大宮市の礎を築いていくために、ご協力をよろしくお願いします。

■問い合わせ■ 歴史文化振興室 ☎52-1450

アルコール依存症



アルコール依存症とは、

「大切にしていた家族・仕事・趣味などよりも、
飲酒をはるかに優先させる状態」です。

以下の項目に当てはまるものがあれば、アルコール依存症になる可能性があります。

健康
通信

常陸大宮済生会病院

副院長

小島 正幸 先生

1	飲酒したいという強い欲望 または強迫感	終業前になると決まって飲みに行くことを考える。 家には常に酒を用意しておかないと落ちつかない、 など。
2	飲酒の開始・終了、または飲酒量をコントロールすることが困難	今日はやめておこうと思っても飲んでしまう。「一杯だけ」と決めて飲み始めたはずが、結局はたくさん飲んでしまう、など。
3	禁酒または減酒した時の離脱症状	離脱症状とは、アルコールが抜けていく時に生じるさまざまな状態のこと。イライラして落ちつかない、発汗や微熱、こむらがえり、不眠、手指の細かい震えなど。
4	耐性の証拠	かつてと同じ量では酔わなくなってしまった。
5	飲酒に代わる楽しみや興味を無視し、 飲酒せざるをえない時間や酔いからの回復に時間がかかる	飲酒のために、家族で過ごす時間や会話が減る。 飲んでいる時間が長くなり、他のことができなくなってくる、など。
6	明らかに有害な結果が起きているにもかかわらず飲酒	有害な結果とは、アルコールに関連する身体の病気（肝臓病・高血圧・糖尿病・心臓病…）、職場や学校でのトラブル（急な欠勤や遅刻、成績の低下やミス）など。

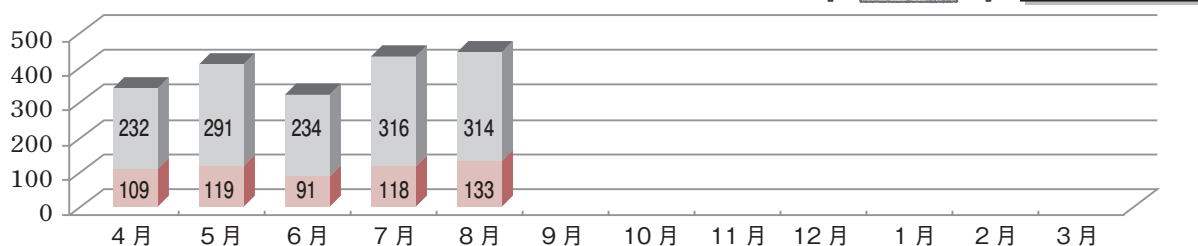
家族が本人の飲酒問題（アルコール依存症）に気づいても、本人はなかなか認めようとしません。事態は次第に悪化して、家族はどうしてよいかわからない閉塞状態に陥ってしまいます。このような時は、外部の専門家に相談することをお勧めします。

常陸大宮保健所でも「酒害相談」ができます。まずは電話してみてください。 ☎52-1157

参照：厚生労働省 みんなのメンタルヘルス、アルコール薬物問題全国市民協会（ASK）

<平成28年度 常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況>

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）





秋季全国火災予防運動がはじまります

11月9日から15日までの7日間、「秋季全国火災予防運動」が実施されます。
秋から冬にかけて空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。この運動に合わせて、予防の意識を高め、火災の発生を防止しよう心がけましょう。



火の用心の7つのポイント



1. 家の周りに燃えやすいものを置かない
2. 寝タバコやタバコの投げ捨てをしない
3. 揚げ物をする時は、その場を離れない
4. 風が強い時は、たき火をしない
5. 子供にはマッチ・ライターで遊ばせない
6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線をしない
7. ストープの周りに燃えやすいものを置かない

○平成28年度 全国統一防火標語○

「消しましょう その火その時 その場所で」

119番の日

11月9日は「119番の日」です。昭和62年に、自治省（現在の総務省）消防庁が制定しました。

119番にダイヤルした時、実際に災害等に見舞われていて気が動転し、落ち着いて通報ができなくなってしまうことがあります。また、慌てて一方的に話すと正確に伝わらず、時間もかかります。通信指令員が必要事項を問いかけてくれるので、一方的に話そうとせず、落ち着いて、聞かれたことについて正確に答えていくのが良い方法です。

また自分の身に危険が迫っている場合は、避難等を優先し、自身の安全が確保できてから通報してください。



【119番の歴史】

大正6年4月1日に、電話による火災通報が制度化されました。当時はまだ電話番号がなかったため、電話交換手に「火事だ」と伝え、消防に繋いでもらう必要がありました。

大正15年にダイヤル式電話が登場し、消防への緊急通報用として、「112番」が定められました。しかし、かけ間違いが多く発生したため、昭和2年に、当時使用されていなかった「119番」が、新たな緊急電話番号として割り当てられました。



今月の 耳より情報 を募集します

12月号の情報を大募集!!

12月号のテーマは、「道の駅常陸大宮かわプラザを楽しむ」です。あなたの道の駅の楽しみ方を教えてください。11月21日（月）までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課
☎52-1111（内線312）
〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6
Eメールアドレス
→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードはこちら→





赤穂浪士 三村次郎左衛門

元禄15（1702）年12月14日の夜、大石内蔵助良雄を中心とする赤穂浪士47名が吉良邸に討ち入り、吉良義央（上野介）を討ち取る事件が起きました。主君である浅野長矩（内匠頭）の仇討ちとして有名なこの事件は、「忠臣蔵」として現在でも人気を博しています。その赤穂浪士の1人として討ち入りに参加していた三村次郎左衛門包常が、本市と関わりがあるというお話を皆さんはご存知でしょうか。

【三村次郎左衛門の生涯】

史実によると、次郎左衛門は寛文7（1667）年に播磨磨国赤穂藩（現在の兵庫県赤穂市）で誕生したといわれています。父親である三村喜兵衛の代から浅野家に仕え、次郎左衛門もまた下級ではありますが、「台所役人」として赤穂藩主である浅野長矩に仕えていました。

元禄14（1701）年、主君である長矩が江戸城内で刃傷沙汰を起こした際、次郎左衛門は江戸の伝奏屋敷にいたといわれています。赤穂開城後、次郎左衛門は大石に従うようになり、討入りの日まで行動を共にしていました。そして、吉良邸襲撃の際には裏門組に配属され、大槌で裏門を打ち破り、一番に吉良邸内へ飛び込みました。その時の行動を大石にほめられたと、討ち入り後に残した手紙の中に記しています。その後、次郎左衛門の身柄は岡崎藩水野家へ預けられ、幕命により元禄16（1703）年2月4日に切腹。遺体は他の赤穂浪士と同様、泉岳寺に埋葬されました。

【三村次郎左衛門と常陸大宮市】

このように、三村次郎左衛門の生涯だけを辿ると、常陸大宮市との接点を探すのは困難に思えます。しかし文化4（1807）年に成立した『水府志料』にある、「鷲子組 小玉村」の項目には、以下のような記述があります。

「此村四方に山あり。東は法性寺村、下小瀬村、西南国長村、北は小瀬澤村につゞき、東西十八町、南北七町。元禄中、浅野内匠家臣四十七人、吉良上野介を討し内、三村次郎左衛門と云ものは此村の人なり。初庄屋なりしが、江戸に出て浅野氏に仕へ、其人数に加はりしと云。其同家のもの今にあり。」



▲三村次郎左衛門像

なんと、次郎左衛門は小玉村（現緒川地域小玉）の庄屋出身であると書かれているのです。確かに、現在も小玉地区の周辺には「三村」の姓を持つ家が多く存在し、元庄屋の家も「三村」姓を名乗っています。また、主君である浅野家は正保2（1645）年まで笠間藩主をつとめており、父親である喜兵衛はこの時に浅野家へ仕え始めたとされています。しかし、次郎左衛門が小玉村で生まれたと仮定した場合、寛文7年の時点で浅野家は赤穂に移っているため、史実との辻褄が合いません。このことを踏まえると、小玉村にゆかりがあるのは次郎左衛門ではなく喜兵衛のほうであるとも考えられます。一方、次郎左衛門が死の直前に提出した「親類書」の中に、祖父が「常州稲田郡」に住んでいたと書かれた記述がありますが、「稲田郡」は存在しない地名であり、次郎左衛門が常陸国の地理に詳しくなかったとも考えられます。以上のように、次郎左衛門の出生に関しては様々な説がありますが、詳細に関しては不明です。

【市内にのこる「赤穂浪士」関係資料】

謎が多い次郎左衛門と本市の関係ですが、調査を進めるにつれて、赤穂事件に関係する古文書や、一族が泉岳寺へ墓参りをし、香典を受納した旨の古文書が残されていることが分りました。どのような理由で伝わり、残されたのかは不明ですが、次郎左衛門にまつわる何かがあるのかもしれませんが。今後も調査を進めていきますので、ご協力をお願いします。



▲小玉地区風景

※赤穂市教育委員会、三村功さん、三村朔男さん、三村信一さん、三村夏央さん、三村まり子さん、桐原彰さんにご協力いただきました。

<参考文献（一部）>

- ・三村功『小玉村 庄屋の軌跡と年貢』
- ・赤穂市総務部市史編さん室『忠臣蔵 第三巻』
- ・三好一行『赤穂四十七士列伝』
- ・赤穂市歴史博物館『特別展図録 検証・赤穂事件2』

歴史文化振興室 ☎52-1450

見守り 新鮮情報

「**24時間最大千円**」と表示されていた**コインパーキング**に3日間駐車した。料金は3千円だと思っていたのに、精算時の料金が**8千円以上**だった。おかしいと思ったが、支払わないと**出庫できない**ので、仕方なく払った。

すぐに電話で抗議したところ、「**最初の24時間が千円**でその後は**通常料金**だ」と言われた。

(70歳代 男性)



コインパーキングの 料金表示はしっかり確認を

ひとこと助言

よく確認しよう



見守るくん

- コインパーキングで、「1日最大〇〇円」「24時間最大△△円」などと表示されているのに、24時間を超えると料金体系が変わり、想定以上の料金を請求される事例が見られます。
- 一見ただけでは利用条件が分かりにくい表示も一因です。利用する前に、看板などに大きく表示されている内容だけでなく、出入口付近や精算機付近などの詳細な利用条件にも目を通しましょう。
- 業界団体では、2014年9月より表示・運用に関するガイドラインを定めています。困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第259号(2016年8月9日)発行：独立行政法人国民生活センター

【問い合わせ】

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通)(本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

ひたまるがゆく

9月10・11日に、道の駅常陸大宮かわプラザで行われた「ひたマルシェ工芸フェス」。お天気にも恵まれ、たくさんの来場者でにぎわいました。

会場には、市内外の工芸作家による様々な作品が展示され、工芸の魅力を発信・発見するイベントにひたまるも興味津々。また食のブースでは、常陸大宮高校のフライドポテトやブルーベリーカルピス、四季彩館のつくね串などおいしい食べ物がもりだくさん！これからも秋のイベントが続き、みんなの笑顔に会えるのが楽しみなひたまるでした。



▲独創的な工芸品にワクワクしているひたまる



▲指導者の河野さん



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.26

毎週水曜日の午後1時から旧大場小学校で、エンジョイピンポンクラブとしてラージボール卓球クラブが活動しています。指導にあたっているのは、2015ねりんピック出場の河野貴一さん（野中町）です。

「ラージボール卓球は今年で発足29年を迎え、全国各地で大会が盛んに行われています。レクレーションとして始まったものですが、近年はスポーツとしても注目されています。また初心者や高齢者が中心に行われているのは、定年を迎え会社を退職し卓球を始めた人、昔やっていた卓球を再開した人など、様々な人たちが気軽に楽しめるスポーツだからでしょう。皆さんも健康的なスポーツとして、ラージボール卓球を始めてみてはいかがでしょうか。」（河野）

■問い合わせ■ スポーツクラブひたまる25事務局 ☎55-9666 FAX 55-9667
生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111（内線342、343）

オオイヌダテ



（タデ科タデ属）



御前山ビオトープ周辺の植物等

道ばたや荒地・川原などに生える1年草で、高さは1～1.5mほどになります。イヌダテよりも大型で茎は太く、節は膨らみ赤味を帯び、多くの紫色の斑点があります。葉柄の基部にある托葉鞘（たくようしょう托葉が鞘状になって茎を包んでいるものでタデ科植物の特徴の1つ）は筒形で縁に毛がありません。6～11月頃、茎の先に4～7cmほどの垂れ下がった花序を伸ばし、淡紅色または白色の花を多数つけます。

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

常陸大宮市の人口

（10月1日現在・推計常住者）

総人口 42,018人
（男 20,700人 女 21,318人）
世帯数 16,097世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 10月 第145号

発行日 平成28年10月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。